

令和7年度 学力・体力向上プラン

学校名 中央区立月島第二小学校

1 課題

【4月】令和6年度学力向上プランの検証結果、学校評価の結果等によって明らかになった課題 【10月】令和7年度学習力サポートテスト、体力テストの結果等によって明らかになった課題	
児童・生徒の学力の課題	
国語	【4月】「令和6年度学習力サポートテスト」の、全観点において、第5学年が目標値を上回っているが、知識・技能および思考・判断・表現の観点で区平均正答率より約4.0ポイント下回っている。 【10月】
算数・数学	【4月】「令和6年度学習力サポートテスト」の、知識・技能および思考・判断・表現において、第4学年が目標値を約9.0ポイント上回っているが、区平均正答率より約1.0ポイント下回っている。また、全観点において、第5学年が目標値を上回っているが、区平均正答率より約10.0ポイント下回っている。 【10月】
社会	【4月】「令和6年度学習力サポートテスト」の、全観点において、第5学年が目標値を上回っているが、区平均正答率より約2.0ポイント下回っている。 【10月】
理科	【4月】「令和6年度学習力サポートテスト」の、全観点および基礎・活用問題において、第5学年が目標値、区平均点、全国平均点を下回っている。第4・第6学年はいずれも同水準を上回っている。 【10月】
英語	【4月】「令和6年度学習力サポートテスト」の、知識・技能の観点において、目標値を7.9ポイント上回っているものの、区平均点を1.9ポイント下回っている。また、基礎問題において、目標値を8.7ポイント上回っているものの、区平均点を1.4ポイント下回っている。 【10月】
体力向上	【4月】「令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果、第5学年男子女子ともに長座体前屈のT得点が低い（男子42.5ポイント、女子47.8ポイント）。また、男子の握力と上体起こしのT得点がそれぞれ48.4ポイントとなっている。 【10月】

2 年度末までの目標及び指標、具体的な取組

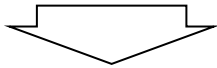
	年度末までの目標及び指標	具体的な取組
国語	【4月】「令和7年度学習力サポートテスト」の、全ての実施学年で、区平均点を上回るようにする。 【10月】	読解力向上を目指した授業改善を行う。自分の考えの根拠となるところに線を引かせるなどして、考えの根拠を本文の記述から考え

		る習慣を身に付けさせる。また、昼学習や放課後補習等で音読や読解力向上の問題に取り組むなど、文を正しく読んで理解する学習に取り組ませる。
算数・数学	【４月】「令和７年度学習力サポートテスト」の、全ての実施学年で、区平均点を上回るようにする。 【１０月】	文章問題に線を引かせ、問題を正確に理解する習慣を全学年で身に付けさせる。また、令和６年度は家庭学習におけるドリルパークの活用率が低かったので、週１回以上の実施を全学年で行う。
社 会	【４月】「令和７年度学習力サポートテスト」の、全ての実施学年で、区平均点を上回るようにする。 【１０月】	都道府県や地形、世界の国土等に興味をもち、そこで暮らす人々の生活について考える機会を増やすため、校内の掲示物を充実させる。また、ドリルパーク等での学習内容の定着を図る。
理 科	【４月】「令和７年度学習力サポートテスト」の、全ての実施学年で、区平均点を上回るようにする。 【１０月】	昨年度に引き続き、単元毎のミニテストやドリルパーク等の活用をすることで定着を図る。また、理解が十分でないと認められる児童に対し、昼学習や放課後等を活用して補習を行う。
英 語	【４月】「令和７年度学習力サポートテスト」の、知識・技能の観点および基礎問題において、区平均点を上回るようにする。 【１０月】	授業内で、聞き取ったアルファベットの活字体を大文字・小文字ともに正確に書けるよう、聞いて理解した言葉を正確に書く学習を重点的に進めていく。
体力向上	【４月】「令和７年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の、全ての実技種目において、Ｔ得点が50を超えるようにする。 【１０月】	授業内で、体の柔軟性や筋力、筋持久力を高める体づくり運動を多く取り入れる。また、本校の特色であるなわとびの取り組みを継続し、年間を通して体力向上に取り組ませる。

個別最適な学びと協働的な学びの充実	
取組	児童一人ひとりの考えを様々な表現手段で提示させることや、児童同士の話し合い活動を意図的に設定するといったこれまでの研究で得られた知見を生かすとともに、今年度の校内研究（体育）にも繋げていく。具体的には、児童一人ひとりに合わせた課題や活動の場を用意し、児童自身が選択したり、児童同士で助言をし合ったりするなどの実践を行う。

探究的な学びの充実	
取組	令和６年度までの地域学習（地域の商店へのインタビュー活動や、タブレット端末や壁新聞等への学習のまとめ）を継続して行いつつ、教科担任制の利点を生かして地域学習を発展していくよう、カリキュラムマネジメントを推進していく。教科担任が自分の担当する教科で専門性の高い授業を行いながら、自分の担当しない教科の進度や学習内容等も教員間で情報共有をし、それを踏まえた授業を行うことで、児童が探究的な学びを進めている間にも各教科で得た学びを活用しようとする態度を育む。

読解力の育成	
取組	図書室を利用した読書活動、図書ボランティアによる本紹介や読み聞かせ、図書委員会による読書推進活動を継続して行う。さらに、電子黒板を活用した読み聞かせの充実を図る。読書活動の充実を図ることで、授業やAIドリルの活用を中心に、教科問わず、書かれた文章の理解、比較・関連付けをして読み取る力を育成するとともに、文章の内容を話し合ったり、自分の意見を書いたりするなどの機会を設定し、読解力の育成を図る。



3 取組結果の検証

	令和7年度の取組の成果	令和7年度の取組の課題と解決策
国 語		
算数・数学		
社 会		
理 科		
英 語		
体力向上		

個別最適な学びと協働的な学びの充実	
成果と課題	

探究的な学びの充実

成果と課題	
-------	--

読解力の育成	
成果と課題	